

小論文（国語領域専攻）

【出題の意図】

問1（配点10点）

出題した文章の理解を問う設問。筆者の提起した問題を正確に理解できているかどうかを評価するために出題した。

問2（配点10点）

出題した文章の理解を問う設問。筆者の提起した問題についての考えを正確に理解できているかどうかを評価するために出題した。

問3（配点80点）

受験生の考えを問う設問。筆者の提起した問題について、自分はどのように考えるかを説得力のある論理的な文章で記述することを求めている。評価では、主題を理解し設問に対する自分の考えを明確に述べているか、根拠をあげて考えを論理的に展開できているか、文章構成や文章表現、表記を適切に記述できているか、分量は適切かといった観点で採点する。

小論文（社会領域専攻）

【出題の意図】

現代社会の変化と教育課題に関わる文章を読ませ、小論文を課した。問1、問2を通して、修学に必要な読解力、社会と教育への関心と知識、そして教育課題に取り組むための思考力・判断力・表現力を評価した。

設問1（配点30点）

私たちが生きる社会と教育課題に関わる文章を読ませ、その内容を正確に理解する読解力、要点を簡潔かつ的確に説明する表現力について評価した。

設問2（配点70点）

筆者の議論を理解する力、および他者の主張と自分の考えを社会の変化や教育課題と関連づけて思考する力、そしてそれらを文章として表現する力について評価した。

令和8年度 京都教育大学教育学部学校推薦型選抜

小論文（英語領域専攻）

【出題の意図】

問1

OECD が教育について英語で書いた文章を出題した。基本的な英語の文章を理解し、内容を日本語で要約する力を評価した。(50 点)

問2

問1の文章の内容をふまえたうえで、自分が英語の授業実践を行うときの着眼点と授業の進め方について具体的に記述させ、思考力と創造力と表現力を評価した。(50 点)